



地域医療の充実を 国立病院の機能強化を求める 国会請願署名

衆議院議長 殿
参議院議長 殿

請願趣旨

新型コロナウイルス感染症（以下、新型コロナ）の世界的な感染拡大は、国民生活に深刻な影響を及ぼすとともに、必要な医療も受けられず自宅で命をおとすという、あってはならない事例も相次いで報告される等、新型コロナ以外の医療への影響も含めて、日本の医療体制のぜい弱さを露呈しました。また、新型コロナ以前からギリギリの人員体制で運営されている医療現場の疲弊も深刻です。新型コロナは、今なお収束しておらず、新興感染症の発生も危惧されており、国民の命を守るために、平時からの医療体制の強化が急務です。

国立病院機構・国立高度専門医療研究センター（以下、国立病院）は、全国47都道府県に設置され、公的医療機関の中でも国内最大のネットワークをもつ医療機関です。国立病院は、がん・救急医療等の地域医療の他、筋ジストロフィー・重症心身障害等の医療、感染症や災害時の医療等、他の医療機関では実施が困難な分野をセーフティネットとして支える重要な役割を担っています。コロナ禍にあっては、新型コロナ病床の増床、全国規模で感染拡大地域へ医療従事者を派遣する等、政府の要請に応え奮闘してきました。しかし、これまでも人員は不足しており、派遣元の病院では、患者に十分なケアができない等の問題も起きています。

国民の命を守るために、国立病院の全国ネットワーク機能をいかし、新型コロナ等の新興感染症対策、大規模災害等の事態に備える医療体制を整え、医療体制の強化をはかることが、医療崩壊を防ぎ、地域医療を守ることになります。

いつでも、誰もが、安心して医療を受けられる体制を確立することは、国民の願いであり、その実現にむけ、下記の事項について請願します。

請願項目

- ① 国民の命を守るセーフティネットとしての役割を確実に果たし、地域医療の充実をはかるため、国立病院を機能強化すること。
- ② 全国ネットワークをいかし、国立病院が新興感染症や災害医療対策において十分な役割を発揮できるよう対策を講じること。

氏 名	住 所
	住所は都道府県から所番地まで省略せず、正確に記入をお願いします。「〃」「同上」などは使用不可となります。
	都 道 府 県
	都 道 府 県
	都 道 府 県
	都 道 府 県
	都 道 府 県

署名用紙に記入された氏名・住所は、請願として国会に提出する目的以外に使用することはありません。

ストップ!「医療崩壊」地域医療の充実を

国立病院の機能強化を求める 国会請願署名

患者さんに寄り添った
やりがいのある
医療・看護・
介護をしたい



これまでも人員不足!!コロナ禍でより深刻に

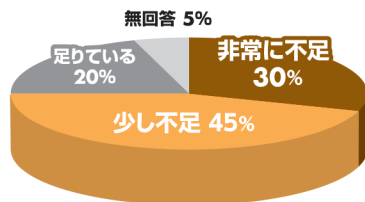
国立病院の取り組み

Q

現在人員は
足りていますか?

A

75%が人員不足を
訴えている

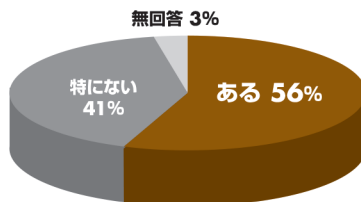


Q

コロナに関連して心身の
変調はありますか?

A

心身の変調ストレス増加
「変調あり」56%



派遣やコロナ病棟へ応援を出した病棟も大変

- 応援を出しているため常にギリギリの人員配置となっています。
- 人員は減るが入院患者数や入院受け入れ状況は変わりません。ナースコールは鳴りやまず、すぐに対応できない中でも、コロナ以外の重症患者の入院を受けています。
- 超過勤務が常態化し、夜勤回数も月9回(三交替)に増えました。
- 1人休めば職場が回らない。病気(コロナ含め)になることは許されない状況です。

新型コロナウイルス 感染症病床数

対応病床数(2021年9月現在)

2,857床

看護師等全国派遣実績

国立病院内の派遣

2020年 1,004人

2021年 2,163人

他の医療機関への派遣

2020年 2,016人

2021年 4,864人

※人数は延べ人数です。

コロナ陽性者受け入れ人数

(2022年5月現在)

38万5,458人

患者の命を守るために普段から
余裕のある人員配置が必要です

